

## 授業科目

## 高齢者看護学実習I

担当教員名 平山 恵美子、高橋 智美、佐藤 純子、金子 奈未	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	◎	◎	○

## 授業の概要

本科目では、高齢者が生活する施設において、対象を尊重しながら対象の日常生活に視点をいた援助を体験するとともに、対象の健康の維持・増進を考慮したレクリエーションを実施する。

## 授業の目的

高齢者施設で生活をする対象の発達課題、特性を理解し、対象の健康障害や生活状況に応じた援助を体験する。また、高齢者施設の役割と課題、施設における看護の役割・機能を考察する。

## 学習目標

1. 高齢者施設の役割が説明できる。
2. 高齢者施設に勤務する看護職の役割・機能が説明できる。
3. 高齢者施設で生活する対象の健康が考えられる。
4. 高齢者施設で生活する対象の日常生活援助を実施できる。
5. 高齢者施設で生活する対象の認知機能に配慮したレクリエーションを企画・実施できる。
6. 対象を尊重した態度で接することができる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1日目	オリエンテーション、レクリエーションの企画	実習 学内で実習小グループを編成し、役割や事前学習の確認をする。対象の認知機能に配慮し、残存機能の維持を目指したレクリエーションをグループで協力して考える。	高橋 智美 他
2日目	高齢者が生活する施設での援助（介護老人保健施設）	実習 介護老人保健施設の役割・現状の課題、施設内外の多職種連携における看護師の役割・機能を考察する。介護老人保健施設で生活をする対象の支援を体験する。	高橋 智美 他
3日目	高齢者が生活する施設での援助（グループホーム）	実習 グループホームで生活をする対象の支援を体験する。グループホームで生活をする対象の健康について考察する。	高橋 智美 他
4日目	高齢者が生活する施設での援助（グループホーム）	実習 グループホームで生活をする対象の支援を体験する。グループホームの役割、現状の課題を考察する。レクリエーションの運営・実施・評価をする。	高橋 智美 他
5日目	まとめ	実習 学内で事後学習をして不足を補う。	高橋 智美 他

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	介護施設の看護実践ガイド	日本看護協会編	医学書院	2013年	2,400円＋税	
	認知症のパーソンセンタードケア	トム・キットウット著/ 高橋誠一訳	筒井書房	2005年	2,500円＋税	
	認知症高齢者と家族へのケアマネジメント	室伏君士	株式会社ワールドプランニング	2009年	2,000円	
	根拠にもとづく高齢者施設ケア	田宮菜奈子、阿部芳道、 山本秀樹	金芳堂	2010年	3,800円＋税	
その他の資料	高齢者のためのかんたん・楽しいレクリエーション	坂本宗久、松本誠志	ナツメ社	2010年	1,944円	

## 評価方法

高齢者看護学実習 I 評価表に基づき評価する。

#### 履修上の留意点

夏季休暇に事前学習及びレクレーション企画の立案をする。

#### オフィスアワー・連絡先

【office hour】 平日の8:30~17:00

【研究室】 K413

【e-mail】 tomomi-takahashi@nuhw.ac.jp